

教科	科目		担当者
総合的な探究の時間	総合探求 (問題解決)	単位数: 1 単位	糸賀 雅史

指導目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

目標とする状態と現在の状態の差を把握しその差を解消する解決策を作成し実行する問題解決の手法を身に着ける。

高校通信講座	なし		教科書	なし
スクーリング	1 単位時間×3 回	合格時間数 1 時間以上	学習図書	なし
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚	副教材	なし
期末試験	なし		評 定	合否のみ

回	配信日	高校通信教育講座 (単元・学習内容)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)
				第 1 回 10/12(水) 10/16(日) ケーキ屋を経営することを想定しどのようにすれば利益が上がるかという問題を通じて問題解決の意味と手法を学ぶ。過去 60 日のケーキの売り上げから製造個数と利益をモデル化し、毎日何個ケーキを製造すると最も利益が上がるか 16 個から 20 個製造した場合の利益を計算することで、シミュレーションによる定量的な問題解決の手法を身に着ける。
			第 1 回 10 月 28 日	
			第 2 回 12 月 16 日	
			第 3 回 1 月 27 日	第 2 回 11/16(水) 12/4(日) アンケートや実験等で自ら集めた一次情報と人が集めた情報を利用する二次情報の違いを理解した上で、問題解決に必要な情報収集の手法を学ぶ。ファッションチェーンが新店舗を開設する際に市場調査した手法を紹介し、コンビニエンスストアが和洋菓子の販売データを収集し分析する際に使った手法とその分析結果を学ぶことで、多様な情報収集手法とその活用方法を身に着ける。
				第 3 回 1/18(水) 1/15(日) KJ 法を実際に体験することで問題解決の具体的手法を学ぶ。人工知能を題材に、自由な発想によるブレインストーミングで意見を出し合い、グループ化してグループに表題を付け、グループ間の関係を図示し、図解化されたアイディアを文章化することで、問題を解決する科学的な手法を身に着ける。
				評価基準: 合否のみ

教 科		科 目		担 当 者
総合的な探究の時間		異文化認識	単位数：1 単位	大谷 光夫
指導目標				
<p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。</p> <p>(2)実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3)探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p> <p>異文化をいろいろな角度から触れることで異文化の認識を深めていく。</p>				
高校通信講座	なし		教科書	なし
スクーリング	1 単位時間×3 回	合格時間数 1 時間	学習図書	自校作成の教材資料を使用
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚	副教材	なし
期末試験	なし		評 定	合否のみ
回	配信 日付	高校通信教育講座 (学習項目)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)
		なし		第 1 回 10/16 (日) , 10/12 (水) ※
			第 1 回 10 月 28 日	文化について 報告課題の取り組み方 いろいろな角度から文化を見る
			第 2 回 12 月 16 日	
			第 3 回 1 月 27 日	第 2 回 12/4 (日) 11/16 (水)
				世界中にさまざま英語に触れる。 世界中のお祭りについて知る。
				第 3 回 1/15 (日) 1/18 (水)
				コミュニケーションの取り方は多種多様である。 この日のスクーリングではボディランゲージを 学ぶ。それは、英語圏の人だけでなく非英語圏の 人のボディランゲージを学ぶ。
			期末試験： なし	
				※スクーリング (日) (水) は、それぞれ登校クラスごと実施。

教 科		科 目		担 当 者	
総合的な探究の時間		パズルで数学		迫田 将一	
<p>指導目標</p> <p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p> <p>特に、事象を分析したり、規則性を探したりして論理的思考力および考察力を養い、その根拠を自らの言葉で説明できるようにする。</p>					
高校通信講座	無し		教科書	なし	
スクーリング	1 単位時間×3 回	合格時間数 1 時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用	
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚	副教材	なし	
期末試験	なし		評 定	合否のみ	
回	配信 日付	高校通信教育講座 (学習項目)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)	
		なし	第 1 回 10 月 28 日	第 1 回 A クラス : 10 月 16 日 (日) W クラス : 10 月 12 日 (水)	
			第 2 回 12 月 16 日	与えられた条件から論理的に考えたり、情報を整理したりすることで答えを導く論理パズルに挑戦する。	
			第 3 回 1 月 27 日	第 2 回 A クラス : 12 月 4 日 (日) W クラス : 11 月 16 日 (水)	
				白地図のように、いくつかの領域に区切られた平面図形をなるべく少ない色数で塗り分けるには何色必要かを考える。また、この問題の背景を紹介し、定理の証明とコンピュータの関係について考える。	
				第 3 回 A クラス : 1 月 15 日 (日) W クラス : 1 月 18 日 (水)	
			ある条件を満たす図形の面積は、それがどれだけ複雑な形であっても簡単に計算して求めることができる。学校では教えてくれない公式と、高校数学で理解できる証明方法を紹介する。		
			※注意! この科目には、 <u>高校通信教育講座はありません</u> 。例年、動画があると勘違いしてレポート提出が遅れる生徒が少なからずいます。締切日をよく確認して、忘れずに提出してください。 スクーリングの日程をよく確認して出席してください。		

教 科		科 目		担 当 者	
総合的な探究 の時間		美術館		単位数：1 単位	
				本多 優貴	
指導目標					
(1) 美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、独創的・創造的に表すことができるようにする。様々な材料を使い自分なりの工夫を加えていく。					
(2) 美術に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。画題に沿ってアイデアを練り、具体的に形を作っていく。					
(3) 主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、美術文化の継承、発展、創造に寄与する態度を養う。作品を最後まで仕上げることにより達成感を味わう。					
高校通信講座	なし	講座数：全3回	教科書	なし	
スクーリング	1時間・3回	合格時間数 1時間	学習図書	自校作成の教材資料を使用	
レポート	全3枚	合格枚数 3枚	副教材	なし	
期末試験	なし		評 定	100点法5段階評定	
回	配信日	高校通信教育講座 (単元・学習内容)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)	
1				第1回 10/16 (日) 10/12 (水) ●美術館に行くための基礎知識	
2		美術館に行くための基礎知識	第1回 10/26	国内の代表的な美術館について、概要や展示内容など画像を見せながら話をします。	
3					
4		様々な職業から見た美術館	第2回 11/4	また過去に開催された展示の作品を鑑賞し様々な話やその作品ゆかりの他の作品などを紹介します。	
5					
6		話題の展覧会について	第3回 11/25	第2回 12/4 (日) 11/16 (水) ●様々な職業から見た美術館	
7				普段なかなか直接目にする機会のない学芸員の仕事や作品を修復する修復師を通じて美術館の魅力や抱える問題や課題などを話します。	
8				美術館を見る目がいろいろな意味で変わるかもしれません。	
9				後半は自ら撮影した美術館の作品をエピソードを交えながら楽しく鑑賞していきます。(撮影可の展示作品を撮ったものです)	
10					
11					
12				第3回 1/15 (日) 1/18 (水) ●話題の展覧会について	
13				様々な魅力的な展示のなかでぜひ紹介したい展覧会を作品の画像を見ながら鑑賞しましょう。	
14				知っておきたい美術の時代、作家や作品についても画像をみながら話をします。	
15					
16					
17					
18					
19			期末試験：なし		
20					